
本音で話し合うESTモデル地域の現状と課題

ーテーマ別ラウンドテーブルー

「バス、鉄道との連携による環境貢献」

「モビリティ・マネジメントの展開」

「観光型都市における環境との共生」

ESTスタートセッション(06/03/17)
ラウンドテーブル「バス・鉄道との連携による環境貢献」
開始にあたって

EST政策が必要な理由と 実施の心構え

名古屋大学院環境学研究所
加藤博和

今のクルマの使い方では間に合わない！

- 車両・燃料技術は向上しているが…
 - グリーン税制と省エネ法のおかげで、01年から微減に転じる
 - しかし、減少傾向は00年代後半で一服の見込み
 - 2030年頃まで、カーボンフリー・燃料電池自動車の普及は考えられない。
それまで、エンジン改良やハイブリッド車導入でのぐが、限界がある
- 自動車利用の増加は続く…
 - 高齢者に自動車利用可能層が増加
 - 都市域の郊外展開と公共交通の衰退止まらず
 - 自動車保有の飽和と人口減少が顕著となる20年代までは増加続く
- 日本だけ考えるならばまだいいが…
 - 途上国: 2005～2030年でCO₂排出2.5倍増。やめさせるわけにいかない
 - 日本: 2010年は1990年比6%減(京都市議定書)だが、2030年は50%減、2050年には80%減が求められる？

自動車技術革新だけでは間に合わず、
ライフスタイルやまちづくりを変えていかないといけない
そのためには、各地域での地道で気の長い取り組みが必要

クルマほど便利なものはないけれど…

- 渋滞
- 交通事故
- 道路建設や維持管理の費用
- 移動制約者(交通弱者)
- 局地環境問題(公害): 大気汚染、騒音・振動
 - ここまでは、クルマ社会でもITSや車両・燃料技術進歩でクリアできる
- 中心市街地空洞化と郊外スプロール化
 - クルマ社会である限り、土地利用規制をしないと防げない
- 地球環境問題: 地球温暖化
 - 実は、一番解決が困難な問題
 - ESTが必要な理由

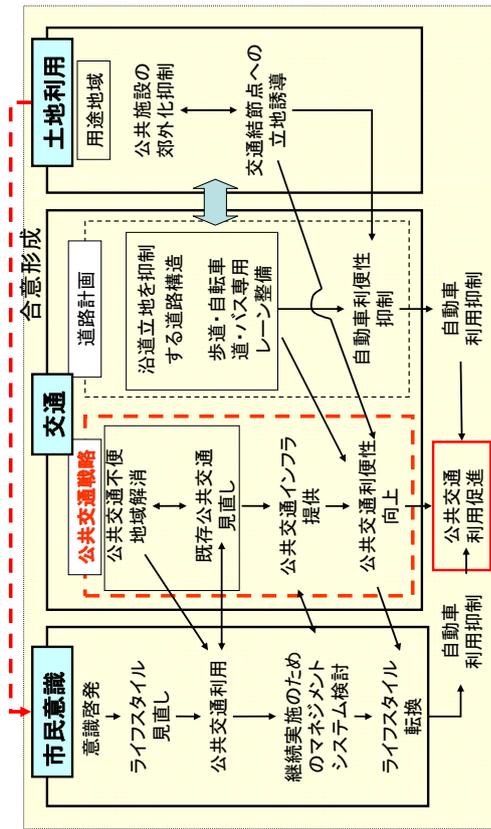
ポイントは 「使いやすい乗合交通とまちづくり」

- 自由に動きたい。でもクルマを使いすぎるのもダメ…
 - MMが有効な場合も多い。ただし、根本的に公共交通が貧弱だと無意味(環境改善効果も少ない)
 - 環境にやさしく、便利に動ける
新しい交通手段をつくり出すことが必要

世界の経験: 規制・誘導・啓発だけでは減らない(持続不可能)
自動車依存に代わる魅力的かつ強力な選択肢が必要
その主要なキヤストは「乗合交通」しかありえない!

- 乗合交通をいかに便利なものにするか
新設もしくは既存改良(ソフト/ハード)

地方都市におけるEST社会構築へのロードマップ(例)



日本の交通システムが「周回遅れ」から戻るために

現状は”Think Sectionally, Act Sectionally”

• Think Globally へ: 長期的・大局的ビジョン

– 本気で交通を変えるためには2050年を見ないとダメ

• Act Locally へ: 「適材適所」と「一所懸命」

– 「現場」が動き出すために必要な3つの戦略ソリューション

- ビジョンに合い地域に合った「魅力的な代替案」の提案
- それを実現可能とする「ビジネスモデル」(資金循環)
- そこにこぎつけ、地についた取組を継続させる「運動論」

→ このような流れの発現を「偶然」でなく「必然」とするためにこそESTの取り組みはある

…自治体の自覚・実行と国のサポート

…目標達成に向かった連携と協働: Backcasting

2006.3.17 ESTスタートセッション

三郷市のESTモデル事業



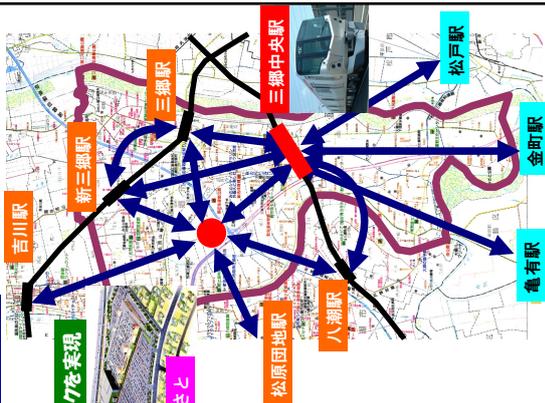
三郷市環境経済部 交通対策課 大野 練夫

地域コミュニティバス再編成の全体構想

＜三郷中央駅アクセス20分構想＞
ピアラシティへ6駅からのアクセスネットワークを実現

ピアラシティみさと

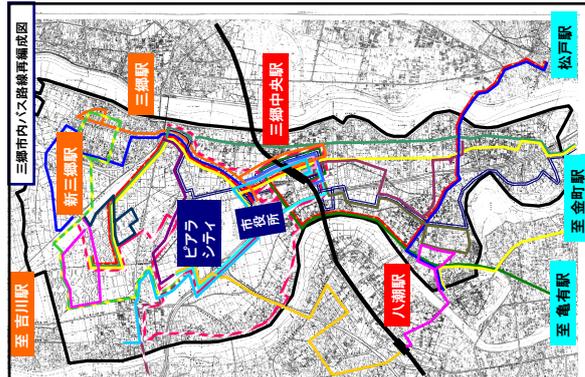
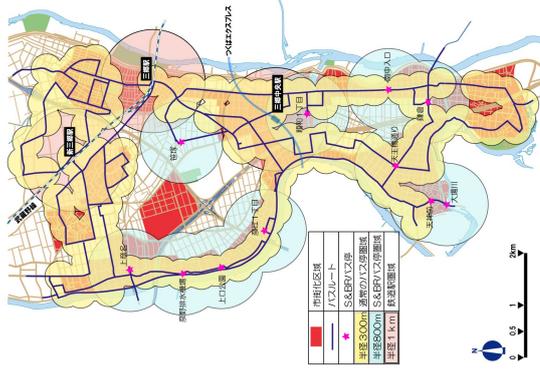
- 三郷中央駅を起点にバスで市内のどこへでも20分程度で移動可能な「三郷中央駅アクセス20分構想」を実現
- ピアラシティみさとを拠点に周辺の6駅にアクセスする放射線状のネットワークを実現
- 通勤通学時間帯に急行バスを設定
- 買物客向けに土・日・休日限定のバスをピアラシティへ運行



三郷市内を運行するバスの路線数と系統数の推移



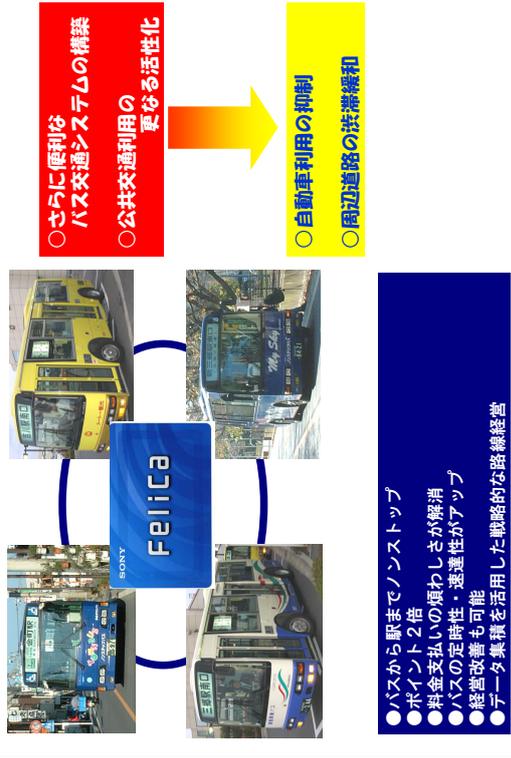
公共交通のカバーエリア



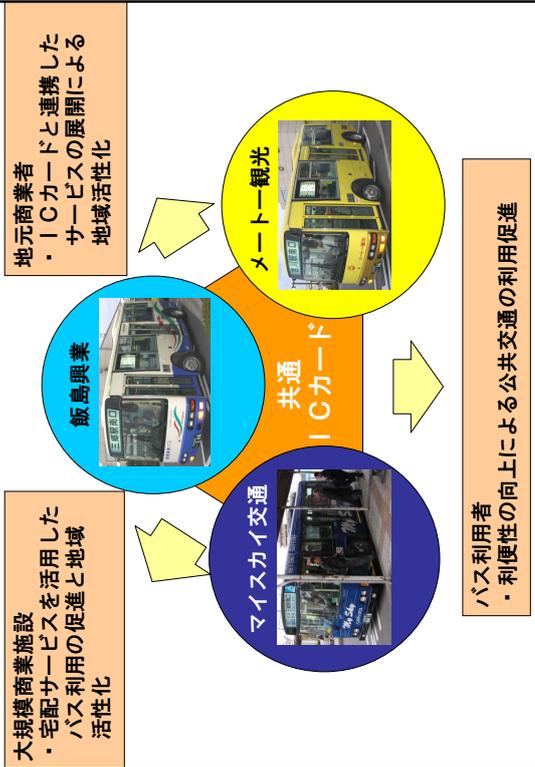
ピアシティへの交通アクセス網



バス共通ICカード・様々な運賃割引制度の導入



バス共通ICカードの導入と商業施設との連携



地域限定ICカードで可能なサービス(例)

